

記入日：2025/02/23
法文学部言語文化学科 4年
高田莉々花

フロリダ大学留学体験記1・2月

2025 年が始まり、1 月 13 日から授業も春学期がスタートしました。今回のレポートでは、私が感じた文化の違いや、特に印象に残ったこと、息抜きについてお話したいと思います。

1. Happy New Year

特に気温が下がった今年の 1 月は、例年より寒く、フロリダの北部では雪が積もったそうです。人生で初めて雪を見たとき驚いている友達も少なくありませんでした。クリスマスが終わると、お店ではすぐに新年のパーティー向けに、入り口近くにお酒がずらりと並びます。12 月 31 日の夜には、近くの公園で花火が打ち上げられ、ダンスパーティーが開かれるなど、街はにぎやかな雰囲気になりました。また、各家庭でも打ち上げ花火を楽しむ様子が見られ、日本のように除夜の鐘で始まる年越しとはまったく異なる体験ができました。冬に花火を見るのは不思議な感覚でしたが、こんなふうになにがやかに始まる一年も、日本のように落ち着いた静かな雰囲気で迎える一年も、どちらもそれぞれに良さがあるなと感じました。

2. 「Mamma mia！」

車で約 1 時間 30 分、ゲインズビル隣のジャクソンビルへ、ミュージカル『マンマ・ミーア！』を観に行ってきました。観客の反応がとても自由で、大声で笑ったり、涙を流したりと、とても開放的な雰囲気でした。英語のミュージカルを観るのは初めてだったので、とても楽しみにしていました。『マンマ・ミーア！』には、多くの有名な曲が含まれており、どれも魅力的です。くすっと笑えるシーン、感動するシーン、ダンスや歌で盛り上がるシーンと、次々に展開するストーリーに心が忙しくなるほど引き込まれました。満足感たっぷりの作品でした。

ミュージカルの最後には、観客全員がスタンディングオベーションを送り、大きな拍手とともに幕が閉じました。

3. アメリカのバレンタインデー

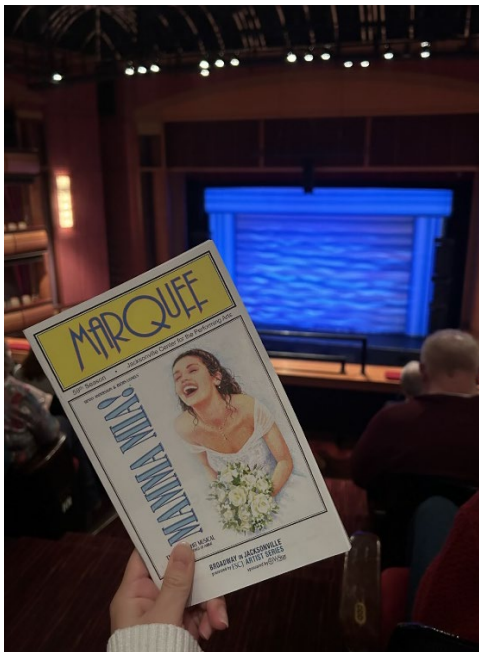
2 月 14 日はバレンタインデーでした。アメリカでは、日本とは違って男性が女性に思いを伝える日なのだそうです。チョコレートだけでなく、花束を贈ることが多い気がするとうなづいて友達に教えてくれました。

この日の夜、友達に誘われて、ペインティングやブレスレット作りをしたり、お菓子を食べながらおしゃべりを楽しんだりしました。こんなふうに、女性同士でバレンタインを楽しむ日を「Galentine's Day (ギャレンタインデー)」と呼ぶんだよ、と友達が教えてくれました。恋バナをしたり、さまざまな話題で盛り上がった女子会は、とても楽しい時間でした！

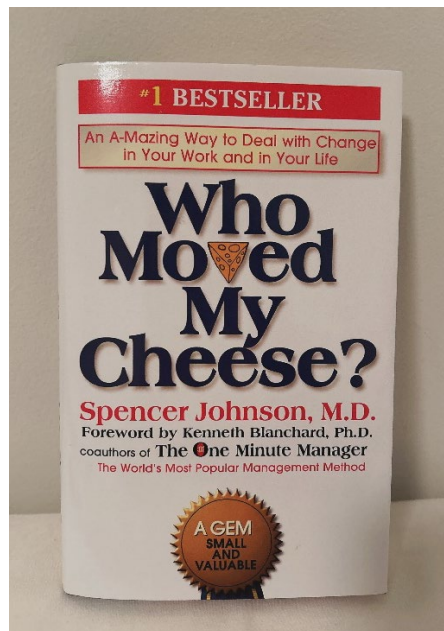
4. アメリカに来て買った本 "Who Moved My Cheese?"

授業の課題がある中でうまく息抜きをし、慣れない環境でストレスを抱えすぎないようにすることは難しいですが、日々を充実させるためには自分で自分をケアすることが大切だと、留学を通して実感しています。

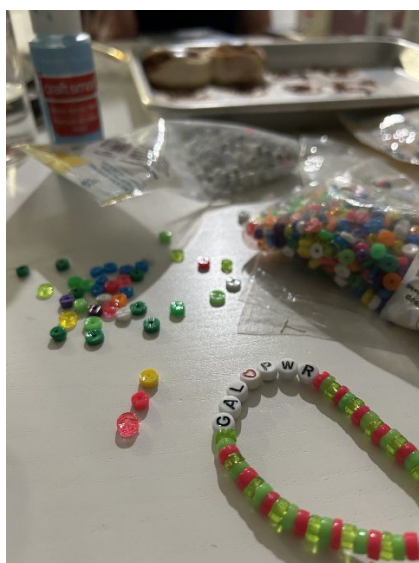
私にとっての息抜きの一つは読書です。今回は、友達が紹介してくれた本を読みました。多くの人に読まれ、親しまれている自己啓発本です。この本は、英語を勉強中の私にとっても比較的読みやすく感じられました。ページ数も多くないので、短時間で読み終えることができました。今の私にあっていて本だったので、この本からのメッセージがよく響きました。英語で本を読んでみたい人、また新しいことに挑戦しようとしている人、何か踏み出すことに臆病になってしまう人、そんな人におすすめの本です！



「Mamma mia!」のミュージカル



「Who Moved My Cheese」



「Galentine's Day (ギャレンタインデー)」